



# Vフロン#200スマイルRB メタリック

- 1.一般名 建築用ふっ素樹脂上塗塗料(弱溶剤形)
- 2.規格表示等
- 2-1.規格表示 -
- 2-2.ホルムアルデヒド放散等級分類記号 F☆☆☆☆
- 3.特長
- 1)耐候性、光沢保持性に優れる。
  - 2)ローラーにより施工が可能で、光輝感に優れる金属調の仕上がりが得られる。
  - 3)隠ぺい性、密着性、可とう性に優れる。
  - 4)弱溶剤使用のため、臭気等も少なく、塗装作業環境を改善できる。
  - 5)耐薬品性に優れるアルミを使用しているため、トップクリアーレス使用も可。

## 4.塗料性状<sup>※1</sup>

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿 <sup>※2</sup>	・主剤14kg、硬化剤1kg(15kgセット) ・主剤2.8kg、硬化剤0.2kg(3kgセット)			
色相	標準色3色、カラーバリエーション8色			
光沢	-			
密度(23℃)	塗料	0.95~1.15		
	揮発分	0.80		
加熱残分	45%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	2時間	1時間	30分
	半硬化	16時間	8時間	6時間
標準膜厚	20μm/回			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

## 5.塗装基準

項目	内容			
下地処理	素材表面の油分、汚れ、埃等を除去し乾燥した清浄な面とする。 pH10以下、含水率10%以下			
調合法	主剤 14部:硬化剤 1部(重量比)			
熟成時間	-			
可使時間	5℃:6時間	20℃:5時間	30℃:3時間	
塗装方法	ローラー <sup>※3</sup>			
希釈剤	塗料用シンナー			
塗装法	塗装方法	刷毛、ローラー		
	希釈率	0~10%		
	標準使用量	0.09kg/m <sup>2</sup> /回		
	標準膜厚	20μm/回		
塗装間隔	ウエット管理膜厚	75μm/回		
	温度	5℃	20℃	30℃
		最小	24時間	16時間
最大	7日	7日	7日	

※1上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

※2主剤・硬化剤は別売りとなっております。

※3施工要領書をご確認の上、ローラーを選定して塗装してください。

注)標準使用量は実測値に基づき算出しています。  
また被塗物の形状などにより標準使用量は変動いたします。

## 6.施工上の注意

- 1)十分攪拌し、均一な塗料状態にしてから塗装する。
- 2)希釈は必ず専用シンナーを使用する。
- 3)使用時には、主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌し、均一な状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 4)主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くす。
- 5)使用するローラーの種類により、良好な塗装外観が得られないことがあるため、塗装器具の選定に注意する。
- 6)ローラーとその他塗装方法の境目は仕上がりに目立ちやすいので、全面をローラーで仕上げることを推奨する。
- 7)補修が必要になった場合等は、面として切れる大ききで、下地調整を行ったうえで改修塗装を行うことを推奨する。
- 8)旧塗膜が塗料用シンナーで溶解する弱溶剤系のアクリル樹脂塗膜の場合は塗装を避ける。
- 9)塗装前には予め仕上がり、作業性を必ず確認する。
- 10)乾燥が不十分の場合、クリアー塗装した際に塗膜が溶解する(メタリックが溶出する)ケースがある。

## 7.関連法規則

危険物表示	主剤、硬化剤:第4類第2石油類
有機溶剤区分	主剤:第3種有機溶剤含有物 硬化剤:第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	-

## 8.使用上の注意[警告]

- 1.引火性の液体である。
- 2.有機溶剤中毒の恐れがある。
- 3.健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器ラベルに表示

2025.10